

主 文

本件上告を棄却する。

理 由

弁護人糸賀悌治の上告趣意は、憲法三九条違反をいうが、原判決は、所論前科を
量刑上一つの情状として参酌したものであるに過ぎず、被告人を所論前科たる過去
の犯罪につき重ねて処罰しようとする趣旨でないことは、その判文上明らかである
から、所論はその前提を欠き、刑訴法四〇五条の上告理由にあたらない。

よつて、同法四一四条、三八六条一項三号により、裁判官全員一致の意見で、主
文のとおり決定する。

昭和五〇年一月二二日

最高裁判所第二小法廷

裁判長裁判官	吉	田	豊
裁判官	岡	原	昌男
裁判官	大	塚	喜一郎
裁判官	本	林	讓